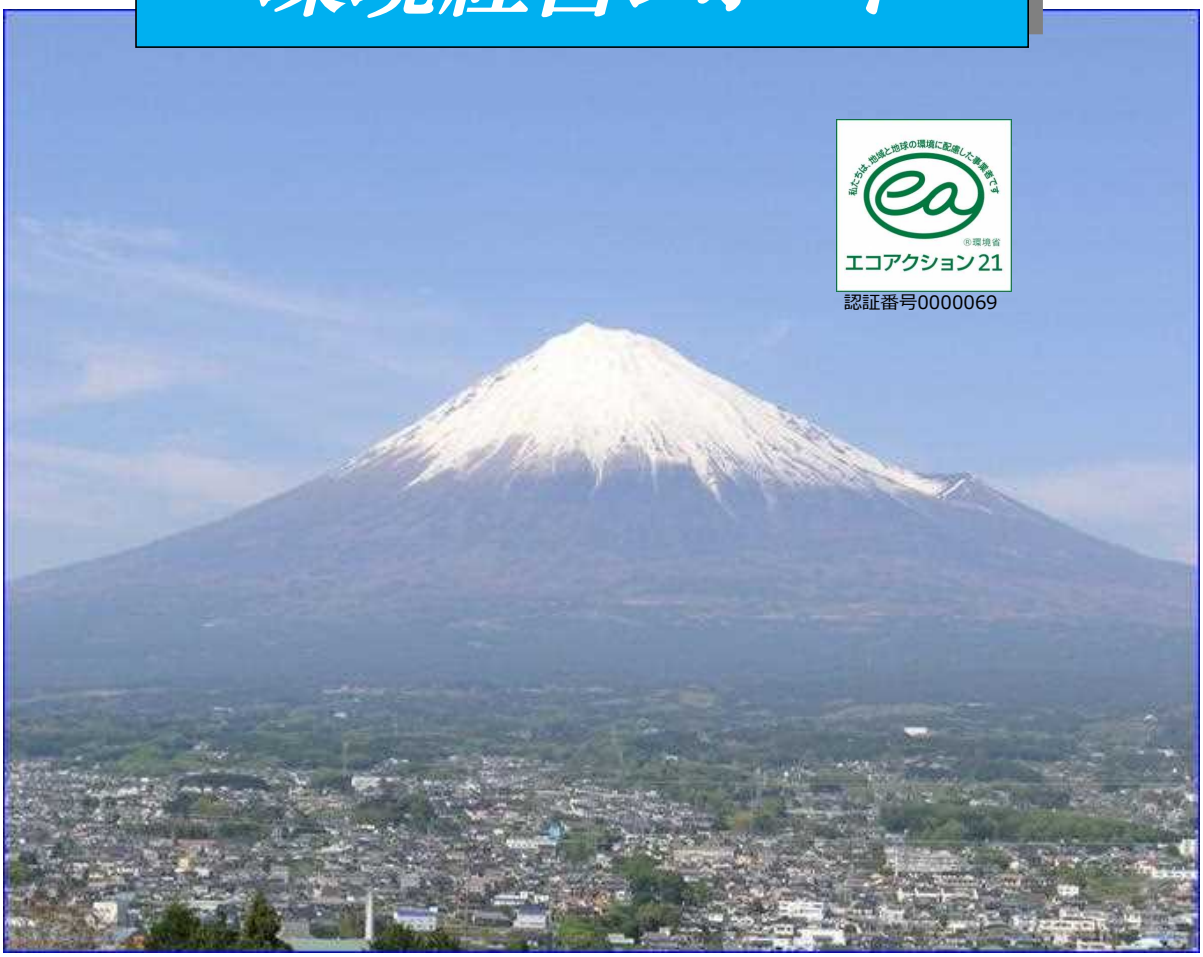
エコアクション21
環境経営レポート



認証番号0000069

発行日：2024年06月21日
活動期間：2023年度（2023年4月～2024年3月）

ミヤマ工業株式会社

〒４１８-０００４
静岡県富士宮市三園平１３５５番地
ＴＥＬ：０５４４-２７-４１１１(代)
ＦＡＸ：０５４４-２７-３２６７

目　　次

Ⅰ.組織の概要 ･････ P-1

Ⅱ. 環境経営方針 ･････ P-2

Ⅲ. 実施体制 ･････ P-3

Ⅳ. 環境経営目標 ･････ P-4

Ⅴ. 環境経営計画に基づき実施した取組み内容 ･････ P-5

Ⅵ. 環境経営目標の実績・取組結果とその評価
及び次年度への取組み計画 ･････ P-6～10

Ⅶ. 当社の取組み ･････ P-11～12

Ⅷ. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟などの有無 ･････ P-13

Ⅸ. 代表者による全体の評価と見直し・指示 ･････ P-14

Ⅹ. 環境上の緊急対策 ･････ P-15

Ⅰ　組織の概要

(1)事業者名及び代表社名

ミヤマ工業株式会社
代表取締役社長　髙﨑尚紀

(2)所在地

・本社工場
〒418-0004　静岡県富士宮市三園平1355番地　TEL:0544-27-4111(代)

・物流センター
〒418-0004　静岡県富士宮市三園平758－1番地　TEL:0544-21-1011

・第2工場
〒418-0001　静岡県富士宮市万野原新田3677-7番地　TEL:　なし

・第3、第4工場
〒418-0002　静岡県富士宮市中原町48番地　TEL:0544-26-8199

(3)環境関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理最高責任者:代表取締役社長　髙﨑　尚紀
環境管理責任者(正):専務取締役　坪井　正信
環境管理責任者(副):取締役　斉藤　徹志
担　当　者:エコアクション21推進事務局　総務部・企画室
連　絡　先:　TEL:0544-23-8216　FAX:0544-27-3267

(4)事業内容及び対象範囲

事業内容及び認証登録範囲
・輸送用機器及び家電部品用、金属部品の加工製造販売
・全社全活動が対象範囲

(5)事業規模

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
生産高	百万円	3,146	2,593	2,755	3,029	3,405
売上高	百万円	3,392	2,823	2,926	3,174	3,674
従業員	人	165	162	160	158	160
床面積	㎡	8,960	8,960	8,960	8,960	8,960
生産量	t	3,956	3,443	2,631	2,904	3,029

(6)事業年度

4月1日～翌年3月31日

(7)環境経営レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポートの運用期間:2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)
環境経営レポートの発行日:2024年6月21日

Ⅱ　環境経営方針

環境経営方針

基本理念
「私たちは、小さな活動も未来の大きな成果へつながることを確信し、環境保全に取組む」

方　針

当社の基本理念に基づき、金属部品加工・組付けを主とする事業活動を通じて環境管理活動に取組み、社会、地球環境との共生・調和をめざします。

1. 全ての事業活動を通じて、環境に与えている影響を捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境
目標を定め、全社員が参加して環境活動の継続的改善を推進します。
又、必要に応じて見直します。

2. 環境関連の法規、条例を遵守し、環境汚染の予防に取組みます。
又、エコアクション21の要求事項に準拠した規定類を制定し、運用します。

3. 具体的取組み内容
①温室効果ガス排出量を削減する(購入電力、化石燃料の消費量を削減する)
②廃棄物の排出量を削減する(一般廃棄物、産業廃棄物の排出量を削減する)
③水資源を削減する(上水道、地下水使用量を削減する)
④化学物質使用量の削減(PRTR制度対象部質)
⑤グリーン製品の調達の推進する(材料含め環境に良いものを手配、購入する)
⑥地域社会との共生をはかる(クリーン作戦等を実施する)
⑦工程不良の削減をはかる。

☆ 緊急時、油・薬品等、環境に影響を及ぼさないよう予防処置をとります。

4. 環境教育・環境カード・ポスターなどで、全社員に環境方針の理解と意識の向上を図ります。
又、環境方針は、顧客、供給者及び一般社会へ必要に応じて、公開します。

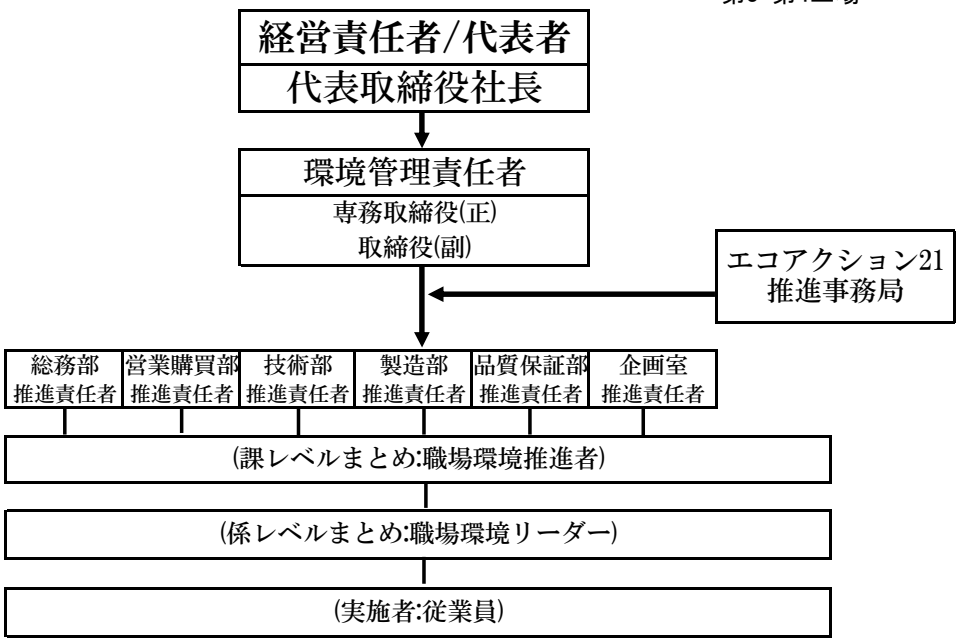
認証制定日　2003年 10月 01日
改訂日　2019年 04月 01日

ミヤマ工業株式会社
代表取締役社長
高﨑　尚紀

Ⅲ　実施体制

作成日: 2018年4月1日
作成者: 坪井正信/環境管理責任者
対象範囲: 全社/本社、物流センター、第2工場
第3・第4工場

①環境管理組織



②任務・責任・権限

代表者
- 環境経営システムの運営に関する全ての責任と権限。
- 経営における課題とチャンスを整理し明確にする。
- 環境管理責任者の任命。
- 経営資源の割り当てと具体的管理運営。
- 環境経営方針の作成と全社員の周知。
- 全体の評価と見直し・指示。

環境管理責任者
- 各部の推進責任者及び推進事務局と内部監査員を任命。
- エコアクション21年間活動計画の作成と実施結果の報告。
- 実施結果の有効性確認と必要に応じた是正処置を指示。
- 環境管理組織の設置。

環境管理推進者
- 目標達成のための維持管理及び改善について責任と権限を持ち、部内の周知徹底を図る。
- エコアクション21年間活動計画の作成と実施結果の報告。
- 環境管理責任者及び職場環境推進者と連携し環境経営システムの見直しと活性化を図る。

職場環境推進者
- 目標達成のための維持管理及び改善について責任と権限を持ち、課内の周知徹底を図る。
- エコアクション21年間活動計画の作成と実施結果の報告。
- 環境管理責任者及び職場環境リーダーと連携し環境経営システムの見直しと活性化を図る。

職場環境リーダー
- 目標達成のための維持管理及び改善について責任と権限を持ち、係内の周知徹底を図る。
- エコアクション21年間活動計画の作成と実施結果の報告。
- 職場環境推進者と連携し環境活動の活性化を図る。

従業員
- 目標達成のためエコアクション21年度計画を具体的に実施。

エコアクション21推進事務局
- 環境に関する教育及び年間活動計画の立案。
- 環境に関する情報の提供。
- 内部監査員の育成及び内部監査の計画・実施。
- 環境経営システムに関する文書・記録の管理と環境経営会議の開催計画の作成と実施。
- 環境経営レポート作成及びHPへのアップ。

Ⅳ 環境経営目標

1.2023年度の環境経営目標

項目		単位	基準年	基準値	運用期間:2023年度		評価
					目標削減率	目標値	○/達成 ×/未達
二酸化炭素排出量 内訳	合計	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	357.97	−0.5%	356.18以下	○
	購入電力	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	311.28	−0.5%	309.72以下	○
	化石燃料	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	30.13	−0.5%	29.98以下	○
	炭酸ガス	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	16.56	−0.5%	16.48以下	○
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	2021年度	26.69	−0.5%	26.56以下	○
	産業廃棄物	t	2021年度	11.51	−0.5%	11.45以下	○
水資源投入量	地下水	m3/生産高(百万円)	2021年度	4.007	−0.5%	3.987以下	×
	上水道	m3/生産高(百万円)	2021年度	0.130	−0.5%	0.129以下	○
グリーン製品の調達推進		%	年	*	*	100%以上	○
不良件数の削減	納入不良	件	年	*	*	10件以下	×
	社内不良	件	年	*	*	6件以下	○
	受入不良	件	年	*	*	15件以下	○
	不良削減	%	年	*	*	10%減/前年	×
クリーン作戦/地域の清掃活動の実施		回	年	*	*	2回/年実施	○
化学物質管理		実態調査・現状把握、リスクアセスメントの実施					○

(備 考)

1.「購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー㈱(2021年)調整前排出係数「0.451kg-CO2/kwh」を使用。

2.基準とする値は2021年度の実績値とする。

3.一般廃棄物/可燃ゴミは、2021年度実績を基準とする新たな目標設定とする。

4.尚、2023年度の実施結果及び評価の詳細はP-6～10を参照願います。

2.中期環境経営目標

2023年度及び中期の環境経営目標は、2021年度実績を基準値とし、下記の通りとしました。
尚、環境目標の基準年を2021年度とした理由は、現在の業務内容に合った目標設定への見直しによるものです。

項目		単位	基準年	基準値	目標年度		
					2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 内訳	合計	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	357.97	−0.5%	−0.5%	−0.5%
	購入電力	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	311.28	−0.5%	−0.5%	−0.5%
	化石燃料	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	30.13	−0.5%	−0.5%	−0.5%
	炭酸ガス	kg-CO2/生産高(百万円)	2021年度	16.56	−0.5%	−0.5%	−0.5%
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	2021年度	26.69	−0.5%	−0.5%	−0.5%
	産業廃棄物	t	2021年度	11.51	−0.5%	−0.5%	−0.5%
水資源投入量	地下水	m3/生産高(百万円)	2021年度	4.007	−0.5%	−0.5%	−0.5%
	上水道	m3/生産高(百万円)	2021年度	0.130	−0.5%	−0.5%	−0.5%
グリーン製品の調達推進		%	年	*	100%	100%	100%
不良件数の削減	納入不良	件	年	*	9以下	8以下	7以下
	社内不良	件	年	*	6以下	5以下	4以下
	受入不良	件	年	*	15以下	14以下	13以下
	不良削減	前年25%減	年	*	10%減/前年	10%減/前年	10%減/前年
クリーン作戦/地域の清掃活動の実施		回	年	*	2回/年実施		
化学物質使用量の削減		適切な管理体制の構築と実践					

(備 考)

1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー㈱(2021年)調整前排出係数「0.451kg-CO2/kwh」を2023年度より使用。

2.一般廃棄物/可燃ゴミは2018年度より新たな分類(処理分類増)にて活動開始、2020年度より新たな指標を使用。

3.「化学物質使用量の削減」は数値目標の設定が困難なことから、定性的な目標としました。

Ⅴ　環境経営計画に基づき実施した取組内容

・2023年度活動計画/詳細は「年度の具体的行動計画書」による

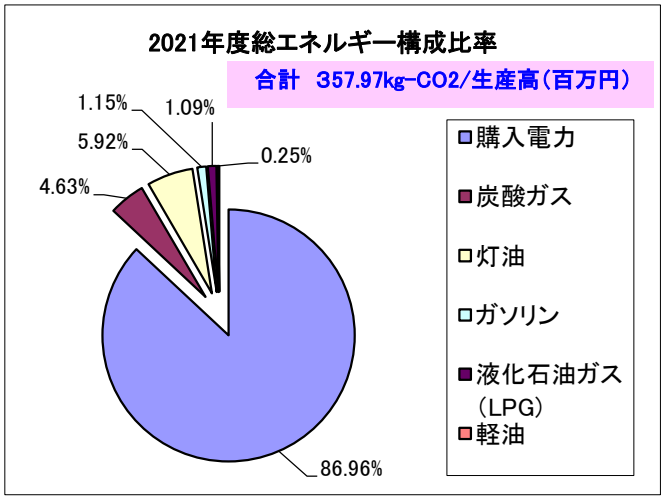
環境活動項目			責任者	スケジュール 上期	スケジュール 下期
基本行動	1.工場内の節電	①昼休み、休憩時間及び不在時の消灯	各部の部署長	→	→
		②長時間使用しない設備、事務機器の電源切り		→	→
		③パソコン及びプリンターの退社時の電源切り		→	→
		④冷暖房機の適正温度管理		→	→
		⑤扇風機での適正温度管理(材料倉庫)		→	→
		⑥エアコンのフィルター清掃		→	→
		⑦人センサー取付けによる節電		→	→
	2.工場内の節水	・水漏れ保全、定期的な蛇口の漏れ点検		→	→
	3.LPガス使用量の削減	①フォークリフト走行時の急発進、急加速空ふかしをしない		→	→
		②フォークリフトの定期点検		→	→
	4.一般ゴミの削減	①指定回収ゴミの分別実施		→	→
		②機械の油漏れ点検実施		→	→
		③ペーパーレス化へ、電子メール、ネット化 IT化への移行		→	→
	5.産業廃棄物削減	・設計時、スクラップの少ないレイアウト ・廃油・廃プラ・廃木材・蛍光燈・ガラス・陶磁器屑の分別		→	→
	6.エアー漏れの点検	・エアー漏れの定期点検		→	→
	7.法令の遵守	・法令の更新及び遵守状況の確認	総務部 安竹	→	→
	8.化学物質使用量の削減	・適正な管理の実施 (PRTR対象物質及び油類の流出防止訓練の実施含む)	総務部 向井	→	→
二酸化炭素排出量の削減	・購入電力の削減	①明るい作業環境の推進 社内照明見直し/LED化・間接部門	総務部 向井	→	→
		②省エネタイプへの更新 エアーコンプレッサーのインバーター式への更新の検討	技術部 佐野	→	→
廃棄物の削減	1.一般廃棄物	・ゴミの減量	総務部 向井	→	→
	2.産業廃棄物	①工程不良の削減	製造部 小川	→	→
		②廃棄物の分別	総務部 向井	→	→
水資源投入量削減	・水漏れ保全	・定期的な使用量チェック(毎月)		→	→
地域社会との共存	・クリーン作戦	・工場周辺の清掃(2回/年)	総務部 坪井	○(4月)	○(11月)
不良件数の削減	納入不良	各不良発生件数の削減	品証部/斉藤	→	→
	社内不良		製造部/小川		
	受入不良		品証部/斉藤		
	不良削減	・工程内不良の削減(不良廃却金額の削減)			
環境パトロール	・作業環境の向上	・安全衛生委員会メンバーによる定期チェック(毎月)	総務部 向井	→	→
外部審査及び教育・訓練	①エコアクション21審査認証(1回/年)		総務部 坪井	(9月)○	
	②環境経営レポートの作成(毎年)		企画室 渡辺	○(6月)	
	③内部監査の実施(2回/年)		企画室 渡辺	(9月)○	(3月)○
	④おこりうる緊急時の対応処置/訓練(油流出・防火　各1回/年)		購買課 防火管理者	(9月)○	○(10月)
	⑤教育/周知活動(2回/年)		総務部 向井	○(5月)	○(11月)
	⑥エコアクション21の定期推進会議の開催(毎月)		企画室 坪井室長	→	→

Ⅵ 環境経営目標の実績・取組結果とその評価及び次年度への取組み計画

1. 2023年度環境経営目標の取組み内容と取組み結果の評価【環境目標・実績と評価】

(1)温室効果ガス排出量

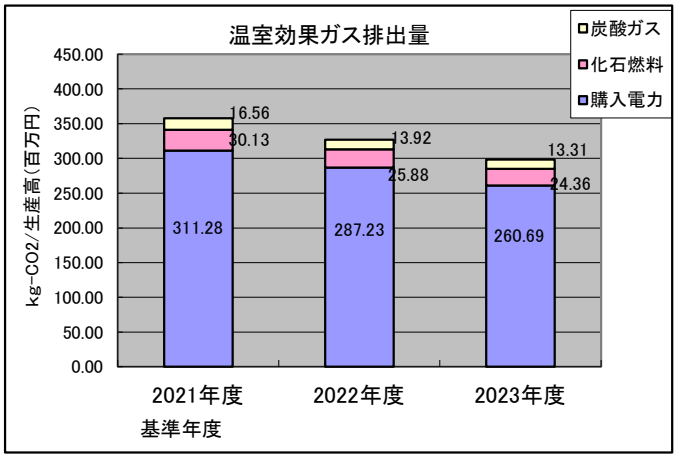
2023年度温室効果ガス排出量の目標は、近年の状況より2021年度実績を基準にCO2の排出量0.5%減とした。



項　　目	2021年度
購入電力	86.96%
炭酸ガス	4.63%
灯油	5.92%
ガソリン	1.15%
液化石油ガス(LPG)	1.09%
軽油	0.25%
計	100.00%

(評価と課題)
COVID-19の影響による事業活動の落ち込みが顕著だった2021年度を基準年として設定しました。COVID-19後の回復により事業活動が活性化することとなり、達成が危ぶまれましたが、各施策の効果を得て、目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、中長期的な視点に立って、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。

＊購入電力のCO2排出係数0.451kg-CO2/kwhは、東京電力エナジーパートナー㈱株の調整前排出係数(2021年)を使用。



目標	2021年度に対し-0.5%	
結果	削減率	-16.09%
	達成率	118.58%

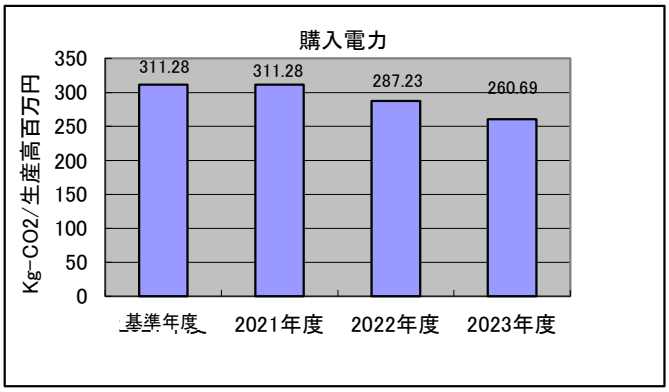
(評価と課題)
2023年度は、継続的な活動の成果により、温室効果ガス排出量削減目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、中長期的な視点に立って、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
尚、排出係数は0.451kg-CO2/kwh(2021調整前版)を継続使用し、活動いたします。また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

(例)2021年度基準に対する削減率＝(2023年度(実績)－2021年度(基準))÷2021年度(基準)×100

(例)2021年度基準に対する達成率＝(2021年度(基準)÷2023年度(実績))×100

年　度	2021年度(基準)	2023年度(目標-0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評　価
単　位	Kg-CO2/百万円			%		
購入電力	311.28	309.72	260.69	-16.25	118.81	○
化石燃料	30.13	29.98	26.37	-12.48	113.69	○
炭酸ガス	16.56	16.48	13.31	-19.63	123.82	○
計	357.97	356.18	300.37	-16.09	118.58	○
総量 CO2量(kg-CO2)	986,248.93	981,317.69	1,023,287.79	環境への負荷の自己チェック表／CO2データ表の合計エネルギー量		
総量 購入電力(kwh)	1,832,536.00	1,823,373.32	1,897,508.00	環境への負荷の自己チェック表／購入電力量		
総量 化石燃料(L)	36,356.70	36,174.92	40,329.52	環境への負荷の自己チェック表／使用量(ガソリン・軽油・灯油・LPG):化石		

①購入電力CO2排出量



目標　2021年度に対し　−0.5%

結果　削減率　−16.25%
　　達成率　118.81%

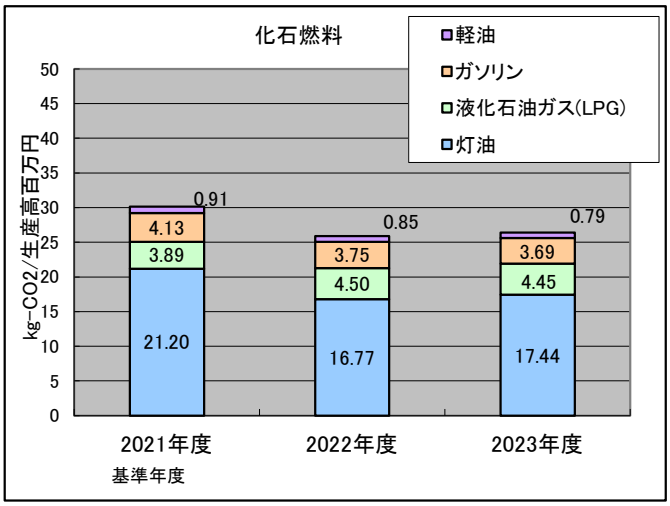
(評価と課題)
購入電力においては、継続的な活動の成果により、温室効果ガス排出量削減目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

改善・削減項目		2023年度省エネ活動の具体的な取り組み	評　価
基本行動	工場内の節電	昼休み、休憩時間及び不在時の消灯活動。	○
		長時間使用しない設備、事務機器の電源切り活動。	○
		パソコン及びプリンターの帰社時の電源切り活動。	○
		冷暖房機の適正温度管理による節電活動。	○
		扇風機で空気を拡散し、温度調整する。	○
		エアコンのフィルター掃除する。	○
		人センサーの取付による、必要なときのみの点灯推進活動。	○
CO2	購入電力の削減	明るい作業環境の推進。(製造設備&手元への直接照明のLED化・間接部門の照明LED化)	○
		省エネタイプへの更新。(エアーコンプレッサーの省エネタイプへの更新検討等)	○

年　度	2021年度(基準)	2023年度(目標−0.50%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評　価
単　位	Kg-CO2/生産高(百万円)			%		
購入電力	311.28	356.18	260.69	−16.25	119.41	○

*購入電力のCO2排出係数0.451kg-CO2/kwhは、東京電力エナジーパートナー㈱の調整前排出係数(2021年)を使用。

②化石燃料CO2排出量内訳



目標　2021年度に対し　−0.5%

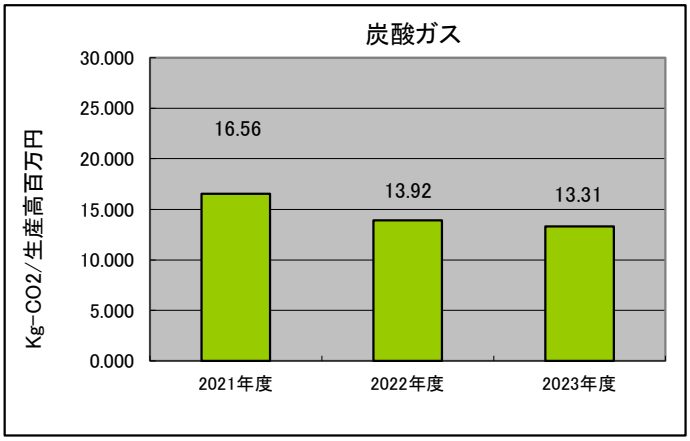
結果　削減率　−12.48%
　　達成率　113.69%

(評価と課題)
化石燃料についても、継続的な活動の成果により、LPガスについては未達となったものの、全体としては温室効果ガス排出量削減目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

改善・削減項目	2023年度省エネ活動の具体的な取り組み	評　価
LPGガス	①フォークリフト走行時、急発信、急加速、空ふかしはしない。	○
	②フォークリフトの月次点検の実施及び使用量確認の実施。	○

年　度	2021年度(基準)	2023年度(目標−0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評　価
単　位	Kg-CO2/生産高(百万円)			%		
灯　油	21.20	21.09	17.44	−17.74	120.93	○
液化石油ガス(LPG)	3.89	3.87	4.45	+14.40	86.97	×
ガソリン	4.13	4.11	3.69	−10.65	111.38	○
軽　油	0.91	0.91	0.79	−13.19	115.19	○
計	30.13	29.98	26.37	−12.48	113.69	○

③炭酸ガスCO2使用量



目標　2021年度に対し -0.5%

結果　削減率　-19.63%
　　達成率　124.42%

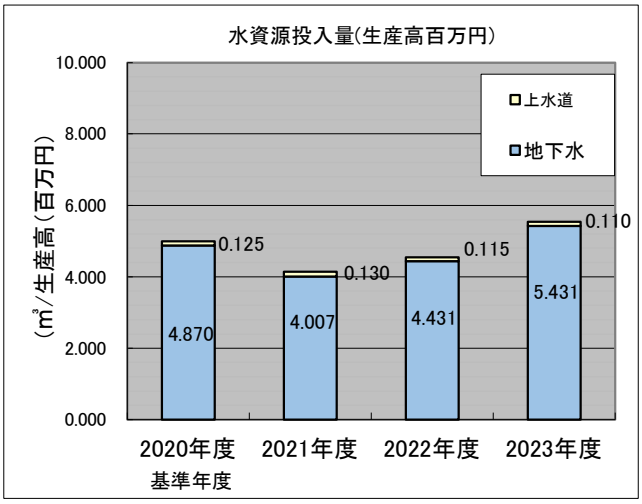
(評価と課題)
炭酸ガスについても、継続的な活動の成果により、温室効果ガス排出量削減目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

年　度	2021年度(基準)	2023年度(目標-0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評　価
単　位	Kg-CO2/百万円			%		
炭酸ガス	16.56	16.48	13.31	-19.63	124.42	○

(2)水資源投入量

2023年度の水資源投入量の目標は2021年度実績を基準に0.5%減とした。

改善・削減項目		2022年度省エネ活動の具体的な取り組み	評　価
上水道 地下水	節　水	定期蛇口のモレ点検の実施。	○
	水漏れ保全	使用量の定期チェックによる異常使用量の再発防止活動。	○



目標　2021年度に対し -0.5%

結果　削減率　+9.74%
　　達成率　91.12%

(評価と課題)
水資源投入量については、2021年度の実績を基準とし削減活動に取り組みましたが、コロナ禍からの脱却に伴い事業活動が回復に転じた事により、増加する結果となりました。

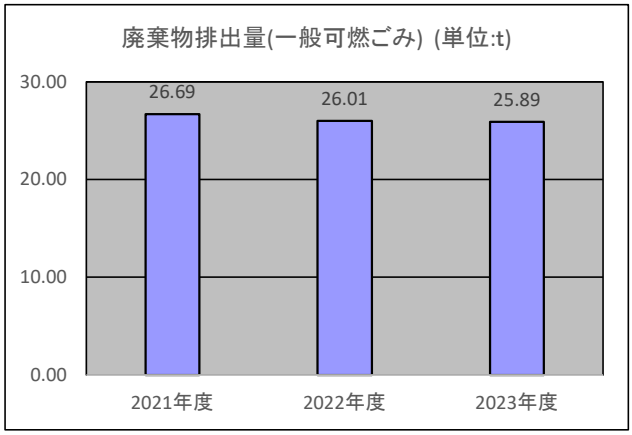
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

年　度	2021年度(基準)	2023年度(目標-0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評　価
単　位	m³/生産高百万円			%		
地下水	4.007	3.987	5.431	35.5%	73.8%	×
上水道	0.130	0.129	0.110	-15.4%	118.2%	◯
計	4.137	4.116	4.540	9.7%	91.1%	×
総量(m3)	14211	13998	13766			

(3)廃棄物排出量:一般可燃ゴミ

2023年度の廃棄物排出量:一般可燃ゴミの目標は、2021年度実績を基準に0.5%減とした。

改善・削減項目	2021年度省エネ活動の具体的な取り組み	評 価
ゴミの減量化	①指定回収ゴミの分別実施/メーカーへの返却継続。 ・ジュース缶、紙コップ類は指定の容器へ、不要なチラシ、パンフレット類は受け取らない、捨てない。 ・オフィス古紙等はリサイクル資材へ。	○
	②機械の油モレ対策を実施(ふき取り(紙、布)ゴミ削減活動及び環境維持活動)	○
	③ペーパーレス化の促進(会議議事録の電子メールの奨励、AS400出力紙の削減)	○



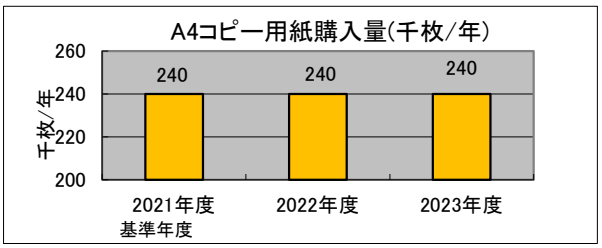
目標 2021年度に対し −0.5%
結果 削減率 −3.00%
達成率 102.57%

(評価と課題)
一般可燃ごみ排出量については、継続的な活動の成果により、削減目標の達成に成功しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

年 度x	2021年度(基準)	2023年度(目標−0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評 価
単 位	t			%		
廃棄物排出量可燃ゴミ	26.69	26.56	25.89	−3.00%	102.57%	◯

【A4コピー用紙購入量の削減】

(評価と課題)
A4コピー用紙購入量は2021年度を基準としましたが、2022年度同様、大きな変化は有りませんでした。
(次年度/今後の取り組み)
引き続き、電子メールの活用によるペーパーレス化の奨励等の活動を継続いたします。



年 度	2021年度(基準)	2023年度(実績)	削減率
単 位	千枚/年		%
A4コピー用紙購入量	240	240	0%

(4)産業廃棄物排出量

年	2021年度	2022年度	2023年度
鉄くず(金属くず)	0.00	3.05	0.00
廃油	6.71	5.88	5.58
複合材	1.71	1.21	0.47
木くず(廃木材)	3.09	2.34	1.36
蛍光灯	0.00	0.00	0.07
ガラス・陶磁器くず	0.00	0.00	0.00
*	*	*	*
合 計(t)	11.51	12.48	7.48
目標値	*	11.45	11.45
	基準年		

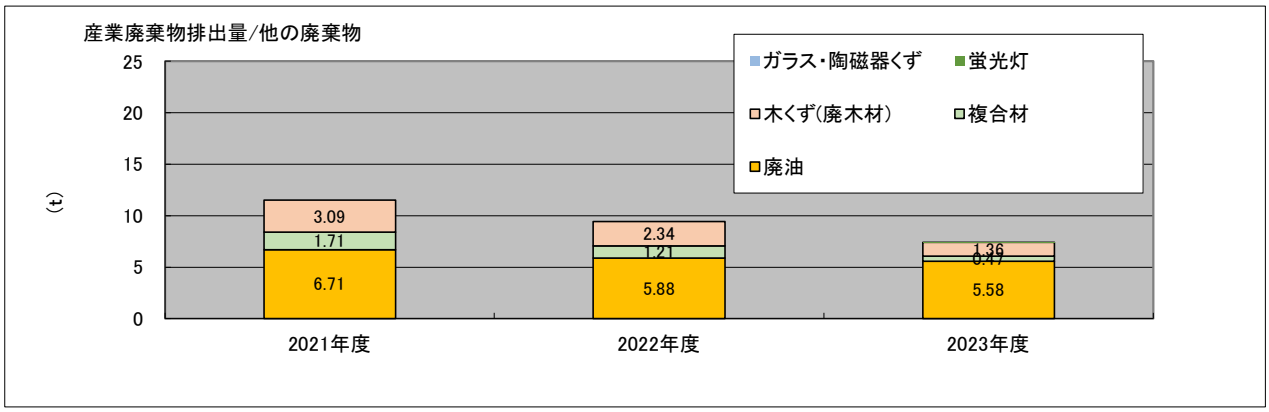
(評価と課題)
産業廃棄物排出量に関しては、2021年度の実績を基準とし削減活動に取り組み、計画を達成しました。
(次年度/今後の取組み)
今後の事業活動の回復・活性化に見合った目標立案の為に、2024年度は各指標のモニターに注力しつつ取り組んで参ります。
また、状況を逐次モニターしつつ、目標の見直しにも取り組んで参ります。

目標 2021年度に対し −0.5%

結果 削減率 −33.88%
達成率 150.49%

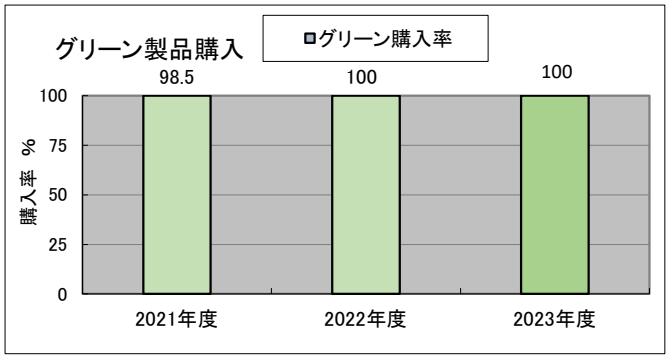
年 度	2021年度(基準)	2023年度(目標−0.5%)	2023年度(実績)	削減率	達成率	評 価
単 位	t			%		
産業廃棄物排出量	11.51	11.45	7.61	−33.88%	150.49%	◯
金型設計	金型設計時、スクラップの少ないレイアウト					○
工程内不良の削減	工程不良の削減 (詳細は次ページ(6))					×

改善・削減項目	省エネ活動の具体的な取り組み	評　価
金属くず	工程内の不良の削減活動/廃却金額削減の実施	○
他の削減	廃油、廃プラ、廃木材、蛍光灯、ガラス、陶磁器屑の削減。	○



(5)グリーン製品購入の推進

2023年度のグリーン製品購入の目標は、購入率:100%です。



目標　クリーン製品購入率100%

結果　100%の購入

(評価と課題)
2023年度もグリーン製品購入100%を目標に活動を行い、結果、100%と目標を達成いたしました。
(次年度/今後の取組み)
今後も継続して活動を実施いたします。

年　度	2021年度	2022年度	2023年度(実績)	達成率	評　価
単　位	品　目			%	
グリーン製品購入率	100%	100%	100%	*	○

(6)不良削減結果

2023年度は、納入不良件数及び不良削減金額は目標未達、社内及び受入不良件数は目標を達成しました。

年　度	2022年度			2023年度			評　価
項　目	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	
納入不良計画(件)	12	14	85.7%	10	13	76.9%	×
社内不良計画(件)	6	5	120.0%	6	6	100.0%	○
受入不良計画(件)	17	8	212.5%	15	7	214.3%	○
工程内不良の削減不良削減金額(千円)	7,200	10,361	69.5%	6,480	6,699	96.7%	×

(評価と課題)
社内不良及び受入不良は目標を達成いたしましたが、納入不良は未達成でした。引き続き「人的要因不良」＝人によるミスへの改善活動を継続していますが、顕著な効果を得ることが出来ませんでした。
(次年度/今後の取組み)
引き続き、品質部門を中心に改善に取り組んで参ります。

(7)化学物質使用量の削減

(活動内容)

・SDSによる化学物質の確認、化学物質の法令類への該当の有無調査等「適正な管理」により実施いたしました。

(活動結果)

・PRTR制度に定める有害物質の使用はありませんでした。
・また、油等の流出時の緊急訓練を実施いたしました。
(上記訓練状況は別紙P-12参照願います)

(評価と課題)
2023年度は「適性な管理」への活動が実施されました。
(次年度/今後の取組み)
2024年度も継続して活動を実施いたします。

Ⅶ　当社の取組み

(1)クリーン作戦 （地域社会との共生）

【工場周辺の清掃活動】　2回/年
地域奉仕活動として、工場周辺及び道路のゴミや雑草を除去した。

日　付	2021/4/15	2021/11/11	2022/4/21	2022/11/16	2023/4/14	2023/11/20
清掃重量(kg)	125.5	192.0	96.5	81.5	103.5	180.0
参加人員(人)	54	49	46	44	45	59

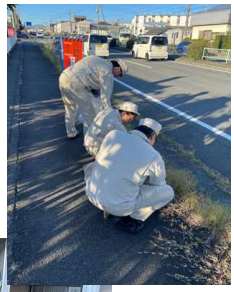
◯第1回目　2023年4月14日(金)

場　所	本 社	第3･4工場	物流センター	他	合 計
草･ゴミ(kg)	80.0	11.5	1.0	11.0	103.5
参加人員(人)	35	3	5	2	45

◯第2回目　2023年11月20日(月)

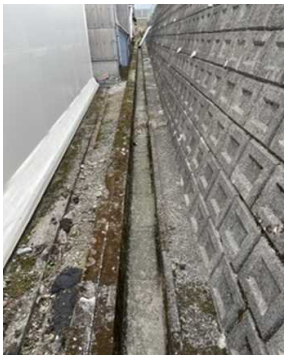
場　所	本 社	第3･4工場	物流センター	他	合 計
草･ゴミ(kg)	158.5	16.0	1.0	4.5	180.0
参加人員(人)	50	2	5	2	59

清掃活動の様子



（清掃前）

（清掃後）



(2)教育訓練の実施

1.【防火訓練の実施】　社内にて防火訓練を実施しました。

･実施日 2023.12.13(水)	
･本社西側消火栓･第二工場	
･講師/オブリック㈱･2名	
部署名	参加人員
総務部 営業購買部 技術部 製造部 防火管理者	6部署 計32名

1.訓練の様子

2.実施結果
消火栓･動力ポンプの取り扱い方法を受講･訓練し習得いたしました。

以上

2.【油汚染防止と対応/油流出時の緊急訓練】　油流出時の対応について教育・訓練しました。

・実施日時及び実施場所:2023.11.16(木)/13:00～13:30
・参加者:製造部、技術部、品質保証部、総務部、営業購買部/・・・・・合計20名
・講師:営業購買部 購買課/2名

1.訓練の様子

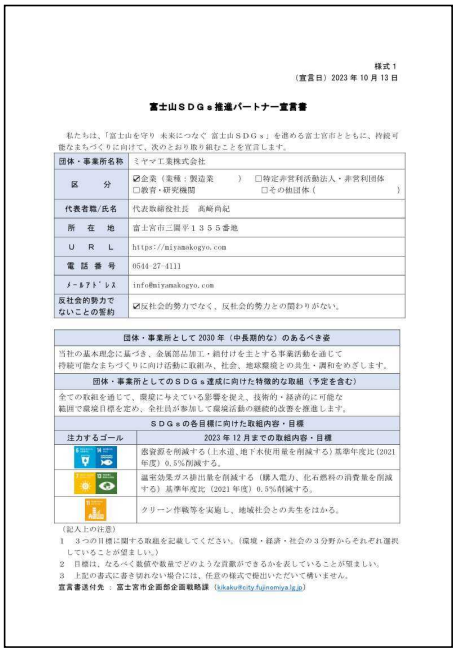
2.実施結果

①受講者は油流出時の対応について受講、処置方法や対応手順について理解ができました。
　・受講時の資料:「油流出防止概略図」、「油流出防止 作業手順書」を使用いたしました。
②他に受講した事項。
　・油脂類運搬時の注意事項。
　・ポリタンク容器の使い分けについて。
　・一斗缶、ペール缶の廃却について。
③上記の受講した結果の確認。
　a. 受講者は講義内容や対応手順について理解していただきました。
　b. 表示物の点検実施(一部の劣化表示を新規に作成し表示いたします)

以上

(3)SDGsへの取り組み

・静岡県富士宮市における「富士山SDGs推進パートナー」事業への登録、
　→ 持続可能なまちづくりに向けた事業活動の推進を宣言



様式１
（宣言日）2023年10月13日

富士山ＳＤＧｓ推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山ＳＤＧｓ」を進める富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	ミヤマ工業株式会社
区　分	☑企業（業種：製造業　　）　□特定非営利活動法人・非営利団体 □教育・研究機関　　□その他団体（　　）
代表者職/氏名	代表取締役社長　高崎尚紀
所　在　地	富士宮市三園平１３５５番地
Ｕ　Ｒ　Ｌ	https://miyamakogyo.com
電話番号	0544-27-4111
メールアドレス	info@miyamakogyo.com
反社会的勢力でないことの誓約	☑反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿	
当社の基本理念に基づき、金属部品加工・組付けを主とする事業活動を通じて 持続可能なまちづくりに向け活動に取組み、社会、地球環境との共生・調和をめざします。	
団体・事業所としてのＳＤＧｓ達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
全ての取組を通じて、環境に与えている影響を捉え、技術的・経済的に可能な 範囲で環境目標を定め、全社員が参加して環境活動の継続的改善を推進します。	
ＳＤＧｓの各目標に向けた取組内容・目標	
注力するゴール	2023 年 12 月までの取組内容・目標
6 / 12	資源部を削減する（上水道、地下水使用量を削減する）基準年度比（2021年度）0.5%削減する。
7 / 13	温室効果ガス排出量を削減する（購入電力、化石燃料の消費量を削減する）基準年度比（2021年度）0.5%削減する。
4	グリーン作戦等を実施し、地域社会との共生をはかる。

（記入上の注意）
1　3つの目標に関する取組を記載してください。（環境・経済・社会の３分野からそれぞれ選択していることが望ましい。）
2　目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
3　上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。
宣言書送付先 ： 富士宮市企画部企画戦略課（kikaku@city.fujinomiya.lg.jp）

Ⅷ 環境関連法案などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

環境経営レポート：Ⅷ環境関連法案などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、控訴などの有無

1.環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：　2024. 9. 2
評価者：　総務部　向井貴俊

法律・条例			条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
義務	法令	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定	○
			第6条	特定施設の届出	プレス機/圧縮機	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更無し	該当なし
		振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	振動の測定	○
			第6条	特定施設の届出	プレス機/圧縮機	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更無し	該当なし
		公害防止組織法	第3条	公害防止総括者の選任	届出済み	○
				公害防止総括者の代理者選任	届出済み	○
		浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施		該当なし
			第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出		該当なし
			第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施		該当なし
		廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
			第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約書の締結	○
			第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
			第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
			第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
			第12条の3第7項	マニフェストの交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
			第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD,E票の期間内返却	○
		消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物：紙屑、プラスチック類等	○
			第11条	指定量以上の危険物保管の届け出		該当なし
			第13条	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	○
			第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
		家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のリサイクル料金の支払	該当なし
		自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし
			第73条	使用済み自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払（廃車時）	
		省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	第4条	エネルギーの使用量の合計が1500L/年以上の事業者は届け出	エネルギー使用量（原油換算値）の把	該当なし
		フロン排出抑制法	第16条	第1種特定製品の点検	簡易点検実施（3ヶ月に1度）	○
			第41条	廃棄等実施者の引渡業務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン引き渡し業務	○
	その他	リーチ(REACH)規制		リーチ適合材料の使用及び適合製品の納入		○
	静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務		○
			第53条	騒音特定施設の届出	プレス機/圧縮機	○
			第55条	騒音特定施設の変更の届出		該当なし
			第79条	振動基準の遵守義務		○
			第80条	振動特定施設の届出	プレス機/圧縮機	○
			第82条	振動特定施設の変更の届出		該当なし
		静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第8条	産業廃棄物管理責任者の設置		○
			第10条	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
責務・努力	法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
		リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
		グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)	第5条	事業者の責務(国等の施策への協力等)	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○

2.違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの違反、訴訟、苦情はありませんでした。

Ⅸ　代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度

作成：2024年6月1日

	項目		確認　（必要に応じて評価・コメント記載）
①見直し関連情報	1	エコアクション21文書	☑ 記録・文書として作成しました。（会議議事録、活動計画と実績等
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑ コロナ禍からの脱却による事業活動の回復により、一部の目標が未達となりました。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☑ 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一蘭及び遵守状況	☑ 別紙確認記録の通り、問題有りませんでした。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑ 違反・訴訟・苦情は無く、問題有りませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑ 定期内部監査の実施及び環境パトロールによる問題点の確認を実施しており、特に問題は有りませんでした。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑ 逐次、入手し、継続して取り組みます。
	8	その他（　　）	☐

②代表者による全体評価・見直し指示

2023年度も、会議体、指標のモニター、データの集約等は、継続的に実施された。
その結果、コロナ禍からの脱却による生産回復に伴い、諸々の使用量は増加したが、単位当たりの使用量においては改善がみられるものもあった。一方、生産内容の変化に伴うものと思われる水資源（溶接の冷却水）等若干、要因と結果に乖離が見られ、重点モニター（分析）を継続している。

尚、2023年度下期・期中において補助金の活用（タイミング）もあり、工場屋根一部に太陽光発電パネルを設置した。今後、CO_2や経費（電気料）の削減が見込まれ、現在もモニターを継続している。
次期においても、生産の回復も期待されるので、より一層のムリムラムダ、特に品質不良の撲滅活動や生産性の向上活動を計画通り、地道に実施したい。

2024年6月1日
ミヤマ工業株式会社
代表取締役社長　髙﨑　尚紀

	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項 等
	1	環境経営方針	有・(無)	
	2	環境経営目標	(有)・無	コロナ禍からの脱却に伴う事業活動の回復の状況を考慮し、必要に応じて各目標の見直しを実施する事。
	3	環境経営計画	(有)・無	コロナ禍からの脱却に伴う事業活動の回復の状況を考慮し、必要に応じて活動内容の見直しを実施する事。
	4	環境に関する組織（実施体制含め）	有・(無)	
	5	その他のシステム要素	有・(無)	
	6	その他（外部への対応	有・(無)	

X　環境上の緊急対策

＜緊急時対策＞

作成日：　2024.06.01
作成者：　事務局/向井貴俊

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限にくい止めること、内外への連絡を円滑に行う事可能な範囲で想定、準備すること。
　また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や訓練の後、対応の評価と必要に応じて改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原　因	対 応 策
パターン1	加工設備、製品保管場所及び廃棄物の分別回収置き場からの発火 (防火訓練)	自然発火	・置き場の整理・整頓 ・定期な見回り確認 ・消化栓、消火器の設置
パターン2	加工設備からの油の漏洩 及び油置き場からの漏洩 (油流出防止訓練)	地震による破損　等	・吸着マットの設置 ・土嚢の設置 ・地震等発生時の行動計画の確認

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の情況	原　因	対処・訓練等
2023.12.13	加工設備、製品保管場所及び廃棄物の分別回収置き場からの発火 。 (防火訓練)	自然発火	・消火器及び動力ポンプの取り扱い方法の確認と実訓練。
参加者	各部署より参加/合計32名　　・講師はオブリック株式会社様。		
評価と改善策	・参加者全員で消火器及び動力ポンプの取り扱い方法を訓練し習得いたしました。		
訓練日	**想定される緊急時の情況**	**原　因**	**対処・訓練等**
2023.11.16	加工設備からの油の漏洩 及び油置き場からの漏洩 (油流出防止訓練)	地震による破損　等	・油脂類運搬時の注意事項。 ・ポリタンク容器の使い分け。 ・一斗缶、ペール缶の廃棄方法。
参加者	各部署より参加/合計20名　　・講師は管理担当課の購買課。		
評価と改善策	①受講者は講義内容や対応手順について理解ができました。 ②表示物の一部が劣化していたので、再作成することにしました。		

*上記の各訓練状況の様子はP-11、P-12を参照願います。